

プロジェクト写真



栈橋キャビン

PENTA キャビン

施設概要

所在地 : 宮城県牡鹿郡女川町海岸通り 6-1
事業主体 : 女川みらい創造株式会社
施設用途 : 休憩所
構造 : 木造 平屋建て
規模 : 延床面積 栈橋キャビン / 9.17 m² PENTAキャビン / 8.36 m²
竣工 : 2024年3月
材料 : 県産杉、CLT、DLT
木材使用量 : 栈橋キャビン 8.96 m³ (うちCLT 1.56 m³ DLT 2.98 m³)
PENTAキャビン 6.22 m³ (うちCLT 6.01 m³)

設計・施工

【栈橋キャビン】

設計監修: 狩野翔太 + 小谷栄人 + 中村哲平
建築・監理: KATSU STUDIO(現株式会社スタジオフッド)
構造: 合同会社 Graph Studio
施工: 高橋工務店株式会社
木材供給: CLT 加工: 株式会社 山大 CLT 製造: 西北プライウッド株式会社 DLT 製造指導: 株式会社 長谷川萬治商店 DLT 製造: 登米町森林組合
プレカット: 株式会社 山大

【PENTAキャビン】

設計監修: 安江怜史建築設計事務所 + コンフェット株式会社
建築・監理: KATSU STUDIO(現株式会社スタジオオフッド)
構造: 合同会社 Graph Studio
施工: 有限会社 報工務店
木材供給: 株式会社 丸中材木店
CLT 加工: 株式会社 山大 CLT 製造: 西北プライウッド株式会社

コンセプト

宮城県女川町でまちづくりに取り組む女川みらい創造株式会社が、女川町海岸広場に「海をより身近に楽しむための居心地のよい庭付きキャビン(小屋)」を製作し、運営するもの。全国を対象にし、デザインコンペをおこない、集まった139点の応募案のなかから選ばれた優秀賞2案をCLTおよびDLTを活用し製作した。両キャビンのあいだには貸切サウナを内包するセンター棟が計画され、キャビンは利用者に時間を区切って貸し出され、海に面した海岸広場で利用者が豊かな時間を過ごすためのプライベート空間を提供する。完成したキャビンは町所有の公園のなかに民設民営された公民連携の拠点となるとともに、震災前の女川で最も賑わいがあった場所で、女川滞在の新たな拠点として活用される。

設計趣旨

【栈橋キャビン】

栈橋キャビンはDLTの壁、CLTの床で構成され、在来木造の一般金物を使用することで構造を成立させている。DLTおよびCLTそのものが耐震要素として機能するため、構造面材を不要にし、木質パネルならではの仕上げと断熱層が一体となったシンプルな木質の構造体そのまま内装にあらわれるようなキャビンとなっている。

【PENTAキャビン】

CLTで屋根、壁柱、床を構成することにより、在来木造では難しい自由な形態を可能にし、五角形の断面で構成されるキャビンを実現した。外装に関しても木材で構成されており、CLTと県産木材のみでキャビンの建設を実現した。あらかじめ工場で加工されたCLTを組み上げることで、現場の天候の影響を受けることなく、高い施工精度と短工期での施工を実現した。

設計者

栈橋キャビン

【意匠設計】

設計監修: 狩野翔太 + 小谷栄人 + 中村哲平

勝邦義/KATSU STUDIO(現(株)スタジオオフッド)

【構造設計】 福島佳浩 / 合同会社 Graph Studio

PENTA キャビン

【意匠設計】

設計監修: 安江怜史建築設計事務所+ コンフェット(株)

勝邦義/KATSU STUDIO(現(株)スタジオオフッド)

【構造設計】 福島佳浩 / 合同会社 Graph Studio

アクセス

鉄道:

JR仙石線・仙石東北ライン、仙台駅～石巻駅
(約60分)

JR石巻線、石巻駅～女川駅
(約30分)

女川駅から徒歩10分

住所:

〒986-2264

宮城県牡鹿郡女川町
海岸通り6-1

